

甘くて大粒なブドウ「シャインマスカット」 生産技術の開発

❖ 1 背景と目的 ❖

茨城県のブドウ栽培面積は274haで、観光直売型の経営が行われています。様々な品種を栽培することで、消費者が自分の好みに合わせてブドウを選べる、魅力的な直売所となります。

そこで、茨城県の気候でも栽培しやすく、品質の良い品種として「シャインマスカット」(独)果樹研究所育成)を選定し、高品質安定生産技術の開発に取り組みました。

❖ 2 研究成果の概要 ❖

○「シャインマスカット」の特徴

- ・果皮が緑黄色で外観が優美です。
- ・マスカットの香りがする、甘みの強い美味しいブドウです。
- ・収穫期は「巨峰」よりやや遅く、露地栽培では9月中～下旬です。
- ・種無し栽培に向いていて、皮ごと食べることができます。
- ・裂果が少なく、比較的安定して生産することができます。
- ・収量が多く、「巨峰」の1.5～2倍程度を見込めます。

○「シャインマスカット」の高品質安定生産技術の開発

一粒重15g、糖度18%以上で外観・食味が良好な果実生産を目標に栽培技術の開発に取り組みました。

- ・管理作業がしやすい短梢剪定(冬季に2芽程度残して枝を短く切る剪定)・平行整枝(発生する新梢全てを平行に誘引する)栽培に適していることを明らかにしました。
- ・果粒肥大を促進させるための新梢管理技術を確立しました。
- ・完全種無し化と食味良好な果実生産のための、効果的な植物成長調整剤の利用方法を確立しました。
- ・外観の良い房をつくるための粒の間引き(摘粒)方法をマニュアル化しました。
- ・糖度と果皮色の関係を明らかにし、収穫適期を判断できるカラーチャートを作成しました。

❖ 3 実用化に向けた対応 ❖

現在、県内で「シャインマスカット」は、約130戸、4.3ha栽培され、今後も増えると予想されます。

ブドウ生産者を対象とした現地検討会や栽培講習会などにより、積極的に研究成果の普及を図り、「シャインマスカット」の高品質果実生産による茨城ブランドの確立を目指しています。



ブドウ「シャインマスカット」



短梢剪定・平行整枝による栽培



栽培講習会

茨城県ぶどう連合会員(生産者) Fさんの声

「シャインマスカット」は食味が良く比較的栽培しやすい有望な品種です。高品質生産により生産者の所得向上が期待されます。しかし、栽培しやすい品種のため全国各地で大規模な導入が進んでおり、販売単価も下がっていくことが予想されます。高単価で販売するためには、他県との差別化を図る必要があり、園芸研究所の技術を利用して「シャインマスカット」の茨城ブランドを確立することが重要です。そのためには、県内ブドウ生産者に開発した技術を普及していく必要があると考えます。